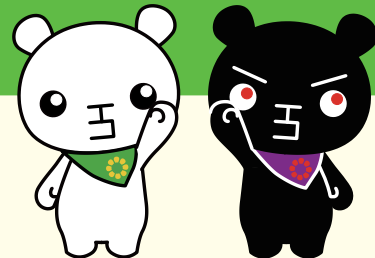


PCB 処理だより

北九州事業エリアの変圧器・コンデンサーの処理が
全国で初めて計画的処理を完了！

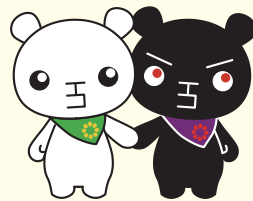
北九州事業エリアの変圧器・コンデンサーは、北九州PCB処理施設において、平成16年の操業開始からの15年間で約12,000事業者の変圧器2,801台、コンデンサー58,950台の計61,751台を処理し、平成31年3月31日に計画通り処理を完了しました。



変圧器・コンデンサーの進捗状況 (平成16年度から平成31年3月31日)

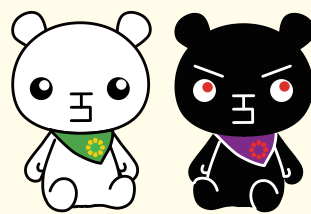
		北九州 事業エリア	東京 事業エリア	豊田事業エリア (変圧器=車載)
変圧器類	処理台数①	2,703台	—	98台
	登録台数② (処理対象台数)	2,703台	—	98台
	処理率①/②	100%	—	100%
コンデンサー 類	処理台数①	52,025台	6,925台	—
	登録台数② (処理対象台数)	52,025台	6,925台	—
	処理率①/②	100%	100%	—

- 本市は引き続き、これまでの先行的な取り組みや事例を他の事業エリアにも展開し、我が国全体のPCB廃棄物処理に寄与していきます。
- また、令和4年3月31日に計画的処理完了期限を迎える「安定器及び汚染物等」についても、計画的処理を確実に完了すべく取り組んでまいります。

北九州PCB処理施設(第1期施設)は操業を終了し、
今後、解体・撤去の準備作業を開始！

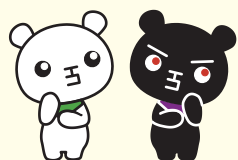
北九州PCB処理施設(第1期施設)の処理対象物である「変圧器・コンデンサー」の処理が完了したことから、第1期施設の操業を終了し、今後、解体・撤去作業が進められます。

操業終了後のPCB廃棄物処理施設内のタンクや配管の内部にはPCBが残っていることから、施設の解体撤去の実施に当たっては、環境中にPCBを排出させないよう周辺環境への配慮を行うこと、作業者の安全衛生管理を行うこと、解体撤去に伴うPCB廃棄物は無害化することを解体撤去の基本方針としています。



解体撤去の基本方針

- 周辺環境への配慮
- 作業者の安全衛生管理
- 解体撤去に伴うPCB廃棄物の無害化処理



■ 今後、市民の皆様へ、解体撤去に関するきめ細かな情報提供を行いながら進めていくよう、JESCOに申し入れています。

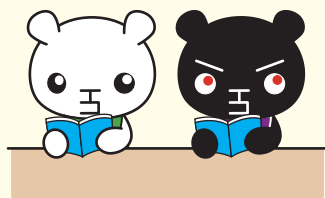
■ また、本市としても、周辺環境への配慮や安全対策の確認のため、立入検査や環境モニタリングなどの方策について、国とも連携しながら、しっかりと対応してまいります。

北九州PCB処理事業所第1期施設 解体撤去に係る今後の予定

	令和元年 (2019)度	令和2 (2020)年度	令和3 (2021)年度	令和4 (2022)年度	令和5 (2023)年度	令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度 以降
解体撤去 ー第1段階ー							
①解体撤去・先行工事による手法・技術の確認	■						
②解体撤去・本工事の事前作業	■	■					
③解体撤去・本工事の実施計画の作成	■	■					
④解体撤去・本工事の仕様取りまとめ、入札・発注	■	■	■				
⑤解体撤去・本工事の施工計画作成、施工準備			■				
解体撤去 ー第2段階ー							
解体撤去・本工事の施工				■	■	■	■
周辺環境、作業者の安全衛生に係る装置・設備	空調設備、排気処理設備、モニタリング設備、電気設備、排水処理設備等						

※今後の検討の進捗により、変更になる場合もあります。

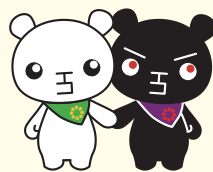
第41回北九州市PCB処理監視会議 において、JESCO、国、本市から、 安全かつ早期の処理完了に向けた 取り組みを報告しました。



日時: 平成31年2月27日(水) 14:00~16:00
場所: 若松市民会館

JESCOの主な取り組み

- 施設の安全な操業を確保するため、長期保全計画に基づき、施設の設備の更新、補修を確実に実施。
- トラブル事例、再発防止策の水平展開を実施して、トラブルの未然防止対策を継続して推進。
- 国、自治体と連携して処理委託契約を速やかに進めるとともに、収集運搬事業者と連携して搬入調整を迅速に対応。
- 安定器の事業所内での仕分け強化に加え、更なる処理促進策の検討を開始。



国の主な取り組み

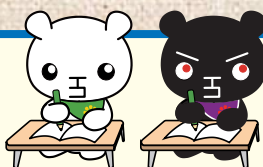
- 北九州事業エリアの自治体に対して、行政処分等の対応について通知、及び説明会を開催。
- 自治体が行政処分を実施するうえで必要となる手続きを迅速かつ適正に遂行できるよう、専門家派遣等による支援を実施。
- 全自治体に対して、安定器の処理促進に向けた掘り起こし調査に関する問い合わせ対応や現地調査等の支援を実施。
- 照明器具のPCB使用安定器の適正処理を促進するテレビCM(15秒)を、平成31年2月4日から2月17日の間、全国で放映。

本市の主な取り組み

- 北九州PCB処理事業所における処理の安全性を確保するため、抜き打ちによる立入検査を継続的に実施するとともに、全てのリスク情報を現場から直接収集し、必要に応じて指導助言を行うため、JESCOと運転会社の会議に参加(去年は55回)。
- 施設立地自治体として、PCB処理推進に係る関係会議に出席し、PCB廃棄物の期間内での確実な処理に向けた取り組みの強化を要請。
- 国、JESCOと変圧器・コンデンサー処理に係る対応について随時協議を行うとともに、処分委託状況等の進捗を毎月管理。

トピックス

トピックス1



「第7回西日本広域協議会」 開催

平成31年2月28日、アジア太平洋インポートマート(AIM)会議室において「第7回西日本広域協議会」が開催されました。関係自治体における早期処理に向けた取組内容や進捗状況を共有し、本市からは期限内の確実な処理完了に向けた取組の徹底を要請しました。



トピックス2

「PCB処理に関する情報サイト」の トップページをリニューアル!

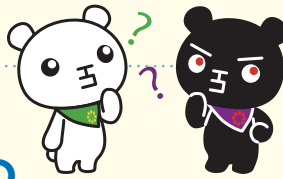
PCB処理の安全性や進捗状況等の情報を発信する「PCB処理に関する情報サイト」のトップページをリニューアルしました。また快適にサイトを使っただけようレイアウト等を変更しました。
URL: <http://www.waste-info.jp/pcb/>



トピックス3

「北九州市環境・コミュニティセンター」の タッチパネルを使った環境関連クイズ問題を更新!

新しく「キッズ問題」・「チャレンジ問題」・「環境マスター問題」の3種類をご用意し、より幅広い世代の方が楽しめる内容となりました。北九州市環境・コミュニティセンターにお越しいただき、パネルクイズをお楽しみください。
所在地: 若松区本町2丁目9-4(明治町銀天街内)



サイトトップページ



パネルクイズサンプル

発行元

PCB News vol.41

環境局環境監視部環境監視課

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号 TEL: 093-582-2175 FAX: 093-582-2196
メールアドレス: kan-kanshi@city.kitakyushu.lg.jp
※ PCB処理の進捗など、地域の集会等に市の職員が出向いて、説明を行います。
ご希望の方やPCB処理だよりについて感想やご意見がございましたら、上記までご連絡ください。
※ この事業について、詳しくは専用ホームページ(<http://www.waste-info.jp/pcb/>)で!!

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



本紙は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。 令和元年5月 No.1912005F